

大分県玖珠町

活動名

玖珠中学校目標協働達成会議による活動

関係する学校

玖珠中学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）					
土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の笑顔 参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPO との連携
学校支援 地域本部	コーディネーター	ボランティア 登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPO との連携
	1人	139人	23年度	有	有	無	無
放課後 子供教室	コーディネーター	子供の笑顔 参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPO との連携
	実施場所				開始年度	放課後児童クラブとの連携	
コミュニティ・ スクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数
	平成 23 年 10 月 12 日				14人	170人	7学級

活動の概要・経緯

玖珠中学校は平成23年10月にコミュニティ・スクールの指定を受け、地域貢献・学校支援を通じた地域の核としての学校づくりに取り組んできた。地域貢献では、伝統芸能の盆踊りの継承活動、地域の各種祭りへの参加、老人施設の慰問、地域住民との意見交換、中学生議会などを行い、地域からの学校支援活動は、あいさつ運動、環境整備、緑のカーテン設置、学校行事への支援、放課後塾での講師などの支援活動を行ってきた。

平成26年度から、学校運営協議会の内部組織として「目標協働達成会議」を設置し、学校と地域、家庭がより連携し、協働して生徒を育成する取組を進めている。会議内に「家庭教育力向上部会」「学校教育力向上部会」「地域教育力向上部会」を設置し、「携帯電話等通信機器の取扱い」「家庭学習の確保」「あいさつの励行・はき物揃え」の目標を設定し、協働した取組を実施することで生徒のよりよい育ちを目指している。

特徴

【特徴的な活動内容】

<地域貢献・学校支援活動>

- ・伝統芸能である地域の盆踊りを継承するため、平成24年から本校の体育祭において全生徒、地域住民、保護者が参加しての盆踊りをプログラムに取り入れた。それに向けて、保存会の方が全校生徒への事前指導を実施している。また、生徒が地域の盆踊り大会に玖珠中チームとして参加するなど交流を継続している。
- ・学習支援では、放課後のドリルタイムの時間に「夢かけはし塾」と称して、外部講師の支援を頂いている。
- ・地域住民との懇談会や中学生議会を開催し、中学生の意見を地域づくりや町行政に反映するなど、地域の核としての学校づくりを行っている。
- ・避難訓練や校内マラソン大会に炊き出しを頂くなど、多くの地域住民の方々からの学校行事への支援がなされている。
- ・生徒は老人施設の訪問など多くの地域住民との交流により、豊かな心の育成につながっている。

<目標協働の取組>

- ・学校運営協議会の内部組織として、保護者、警察関係者、校区内小学校などから16名を学校運営協議会の委員14名に加え、30名で「目標協働達成会議」を設置した。生徒の健全育成に向け、この会議を部会制とし、部会毎に目標を設定することで、地域・家庭・学校が協働して取り組んでいる。
- ・部会員からの提案を受けた熟議や、保護者に対するアンケート調査や取組の進捗状況を協議することで、3者が一体となり、保護者や地域住民に学校運営に対する当事者意識がより高くなった。
- ・地域教育力向上部会では「あいさつのできる地域・はきものがきちんと揃う地域」を目指し、中学校の運営協議会（目標協働達成会議）が発信源となり、自治会館（公民館）と連携しながら取組を推進している。

【実施に当たっての工夫】

- 運営協議会（目標協働達成会議）での決定事項を地域組織やPTA組織で広く取組を推進するため、以下の連携を図った。
 - ・地域組織 … 自治会館（公民館）の委員を本校運営協議会委員に職指定。
 - ・PTA連携 … PTA役員10名を目標協働達成会議の委員として委任。
- 目標協働の取組を展開するに当たり、保護者と地域住民を対象とした研修会（コミュニティ・スクールとは）を、自治会館（公民館）と連携し開催した。
- 生徒に地域貢献を考えさせるため、全校生徒を対象とした研修会を実施した。

事業を実施して

- コミュニティ・スクールの取組がもたらす社会性の向上などが、本校教育活動の中心であるキャリア教育に利点として作用し、郷土を愛する心の醸成や将来への意欲関心を高め、中学校生活に意義を見いだしている。
- その結果、生活面は落ち着き、学力も向上している。
- 自治会館（公民館）が地域行事を開催する際、中学校との連携を必ず視野に入れるようになった。
- 地域住民は行事支援や学習支援を行うことにより自らの生きがいとなっている。
- 生徒の健全育成に向けて、教職員と保護者、地域住民が直接協議し目標設定や協働した取組を実施することで、地域住民や保護者には学校運営への当事者意識が高まった。また、地域の教育力や家庭の教育力の高まりに期待できる。



目標協働達成会議の様子



盆踊りの指導風景

その他

- 学校地域支援本部との連携をスムーズに行うため、コーディネーターを本校の運営協議会委員として委嘱している。